理事会報告書

１．概要

	第５回　理事会
日　時	令和５年 9 月 15 日　18:30～21:00
場　所	Web 会議
出席者	理事大山盛樹、井手伸二、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、重松康志、永木照彦、 浦川純二、志岐浩二、大石勝規、小柳　傑、笹原順哉、飯野朋彦、池田章子、森健次郎 監事柿田謙三、　大木田治夫 書記大月雅之、狩浦圭介 事務局坂井孝行 その他内田由美子、前田和嵩

２．理事会議題と決定事項

（１）審議事項

１）案内用看板（メディカルサポート事業）の作成について
案内用の看板が経年劣化により作り替えの話が出たため印刷会社に見積を取っている。おすすめは自立式スタンドで一つ 36,000 円。5 つ作成し、18 万円。審議の結果、提案通り可決された。

２）Zoom ミーティング契約内容の見直しについて
契約している Zoom が 9 月 24 日が更新日時。今はプロ、ウェビナー、大規模ミーティングの 3 つを契約しており、合わせて 193,500 円。500 名は必要、大規模ミーティングの 500 名は必要ない。今はビジネス、ビジネスプラスがあり、いずれも 300 名対応だが、プラスはストレージ容量が 5 ギガから 10 ギガになる。ストレージは容量いっぱいになりやすいためプラスを契約する。審議の結果、提案通り可決された。

３）プロンプター購入（リース）について
プロンプターについて、購入の要望もあったが現状必要とはいえないため、ペンディングとする。

４）長崎理学療法　転載許可について
長崎理学療法に高草木先生に書いていただいた図に対し、医学書院から転載許諾のお願いあり。掲載書籍名は運動療法。本会としては著者の先生が許可されるようであれば許諾することとする。審議の結果、提案通り可決された。

５）第 2 回学術研修会開催伺いについて
内容は摂食嚥下で対面を予定。感染予防対策を取りながらの開催。キャパシティ 150 名の会場で定員は 50 名。フェイスシールドと聴診器を参加者が準備、その他備品は当会で準備。審議の結果、提案通り可決された。

６）第 34 回長崎県理学療法学術大会　予算（案）について
第 34 回学会予算は年度をまたぐため、3 月までと 4 月からに切り分けた予算を作った。トータル 240 万円前後。今年度は 40 万円を見積もり、残りは次年度となる。審議の結果、提案通り可決された。

７）士会承認症例検討会承認の件について
長崎記念病院から士会承認症例検討会の申請が 2 件あり。内容的に問題なし。審議の結果、提案通り可決された。

８）新入会承認について
総会員数 2,279 名、在会会員 2,006 名、休会会員 273 名、施設数 339。入会 1 名、退会 2 名、復会 1 名、休会 4 名。審議の結果、提案通り可決された。

（２）報告事項

１）第 34 回長崎県理学療法学術大会　企画(案)について
会場は島原市有明総合文化会館グリーンウェーブ大ホール 700 席。多目的ホール 1、2 各 108 席。ハイブリッドを予定。テーマは Design～未来の生活を創る～。講師は県民公開講座 1 名、基調講演 1 名、教育講演 2 名の 4 名を検討。講師は県民公開講座の浜村先生はじめ検討中。基調講演は高知リハビリテーション専門職大学の山崎先生が候補、教育講演は国際医療福祉大学の石井先生と筑波大学の山田先生、増原クリニックの中川先生と耀光リハビリテーションの小川先生など。日程は 6 月あたりを予定。形式はハイブリッド。

２）令和 5 年度 第 1 回学術研修会報告について
8 月 26 日にハイブリッドで開催。大分大学准教授の阿南先生が講師。ハイブリッドで参加者は現地 24 名、オンライン 155 名。反省点としては、実技が少なかった点や機材故障等トラブル等。

３）令和 5 年度 介護予防・健康増進キャンペーン（理学療法の日）について
7 月 16 日に開催。長崎会場と諫早会場でエコバッグとハンドブック、理学療法ガイドを配布。50 周年の記念品の残りも 90 個配布。いずれも好評。エコバッグが値上がりしている。

４）地域包括ケア推進導入研修回について
地域ケア会議、介護予防それぞれの導入研修を開催。今年度から講師を変更。予算はリモート開催にて半額余る形。

5）第2回　西彼・西海地区中学校女子バスケットボール障害予防ミーティングについて
7月30日に西海中学校第2体育館で開催。スタッフ13名、参加7チーム。複数の学校でチームをつくる形もでてきている。空調はなかったが熱中症、故障者なし。救護グッズ、血圧計などを病院から持ち出しており、協会で準備する必要あり。冷風機なども検討。

6）令和5年度　協会指定管理者研修会について
8月5日フルオンラインで開催。JPTAの佐々木理事の動画の後、大山会長の講義。その後グループワーク。参加31名。予算191,200円で残高49,563円。

7）令和5年度 第14回訪問リハ・地域リーダー会議について
8月26日に開催された。診療報酬含め政治力の大切さと来年度以降高齢者の保健事業と介護予防の一体化にリハビリと口腔栄養が含まれているという話。行政との関わりや上位研修により質の担保はしているが、活用方法の検討など課題あり。訪問リハビリの分野でも、専門性を高めること、人材育成について考える必要あり。

8）令和5年度　第1回長崎地区研修会について
7月22日に開催。パーキンソン病のリハビリについて、講師は長崎北病院の本多先生。参加者76名。120分の講義で講師費は12,000円。機材トラブルや時間配分は今後の課題。

9）令和5年度　島原・雲仙地区第2回研修会の案内について
第2回研修会について、スポーツをテーマに吉田先生に講師を依頼予定。職能推進局との共催。11月28日、有明文化会館にて。地区研修会のくくりで参加費無料。

（3）その他報告事項

1）NPアラート発令について
長崎、諫早、長与、時津に大雨による警戒レベル4が出たため、NPアラートを発令。

2）50周年記念誌について
50周年記念誌について、完成し発送準備に入っていたところ多数の誤字脱字が判明。先方の変換ソフトに起因した問題。こちらのチェック不備もある。正誤表の話も出たが、見栄えの問題もあり。シールによる修正を検討。先方と調整する。

3）連盟活動について
9月27日に連盟研修会あるが現在の申し込み者17名。3回セットで1回目に1,000円払えば後の2回は無料で受講可能。広報をかけて参加者を集めたい。